

地域脱炭素ネットワークイベントを 通じた協業事例

愛知県安城市のケース



「SDGs未来都市」に選定され、脱炭素社会実現のための具体的な施策を検討する中、イベント参加で脱炭素と地域課題を同時解決する新たな取組が展開された愛知県安城市。市内公共施設にPPAモデルにより太陽光発電設備を導入しました。

〈協業のきっかけ〉

イベントに参加したことで繋がったNTT西日本様からNTTアノードエナジー様をご紹介いただき、施策として考えていたPPAモデルによる公共施設への太陽光発電設備導入を協業で行うことになりました。



〈協業した企業への期待〉

他自治体の先行事例はあるものの、**庁内調整**には、事業に伴う**効果**や**コスト**をデータに基づいて説明する必要があります。

企業に対しては、太陽光発電設備に関する知見や実績だけでなく、**数値的根拠に基づくデータ**などの提示を期待し、所定の手続きを経て協業に至りました。

愛知県安城市×NTTアノードエナジー 「PPAモデルを活用した太陽光発電設備導入」

事業者名：NTTアノードエナジー株式会社

所在地：東京都港区

事業内容：エネルギー流通ビジネス、グリーン発電、アグリゲーション、電力小売、エンジニアリングソリューション

協業内容：東部公民館および北部調理場にPPA方式による屋根置き太陽光発電設備を設置。

PPA方式、自己所有方式、リース方式それぞれの事業コストの比較や、長期契約となるPPA方式のメリットやリスクに関するデータ等、財務面や運用面を庁内で調整する上で必要な資料を提供することによりスムーズな計画策定と実行に貢献。



東部公民館屋上



北部調理場屋上

ネットワーキングイベントと協業の意義



〈ネットワークの広がり〉

イベントで繋がった企業に
グループ企業をご紹介いた
だき、**大きなプロジェクト**
を実現することができまし
た。

広く連携事業者を探すとい
う意味において全国規模の
イベントは有益であると感
じます。

〈イベントの収穫〉

自動車をはじめ世界的なものづくり産業が集積す
る安城市は、製造業など産業分野のCO2排出量が多
いという課題があります。この課題を解決するた
め、その他幅広く本市の脱炭素化の推進のため
に、**一緒に取組んでいただける企業**を探していま
した。

イベントでは多くの実績を持つ企業と繋がり、自
治体の持つ**課題がマッチするかどうかを見極める**
ことができるだけではなく、他の自治体の**先行事**
例を学べたことも収穫であったと思います。

〈参加を考えている 自治体のみなさまへ〉

どんな提案であっても
「まずは聞く」という姿勢
が大切だと伝えたいです。

また、脱炭素は新しい分野
だからこそ行政によくある
「平等・公平」に縛られ過
ぎず、柔軟な思考で企業と
新しい提案を練っていくこ
とが必要と感じます。

PPA方式による太陽光発電設備導入 ～CN室の取組み紹介③～

令和6年度、**PPA** (Power Purchase Agreement: 電力販売契約) 方式により、
東部公民館と北部調理場に太陽光発電設備を導入します！

PPA方式ってなに？

- ① 屋根を貸し、事業者負担でパネルを設置！
- ② 発電した電力は施設で使用！
- ③ 電力を使った分だけ事業者へ支払い！

負担は、クリーンなエネルギーを使用できます！

通常

- 多額の初期費用
- 自前で設置するで！
- 設計の手間
- メンテナンスのランニングコスト

PPA方式

- 初期費用 0円！
- 毎月電気料金を支払い！
- 事業者が設置！
- 事業者がメンテナンス！

どんな効果があるの？

- CO2排出量は年間で……**118t削減**
- 非常用電源として災害時も活用可能

※ 2施設の効果。ちなみに118t・CO2は、約の米13,424kgが1年間で吸収する量に相当します。

CN通信 vol.17

庁内職員向けの啓発資料
として毎週作成している
『CN通信』にて、
本事業を紹介しました。

